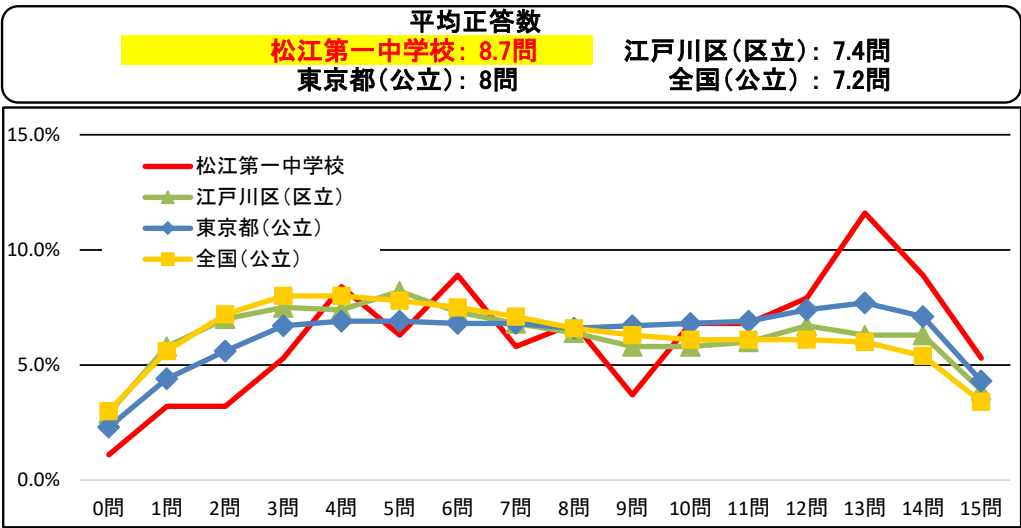


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【数学】 松江第一中学校

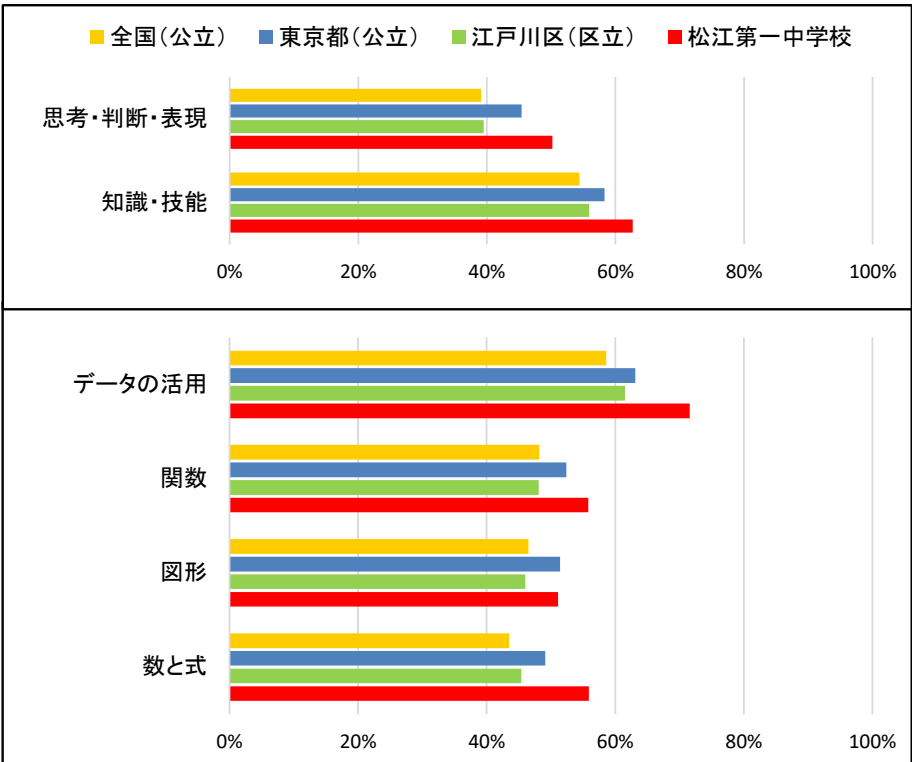
正 答 数 分 布



【平均正答率の差】

松江第一中学校	58%
江戸川区(区立)	49%
東京都(公立)	53%
全国(公立)	48.3%
都との差(ポイント)	5.0

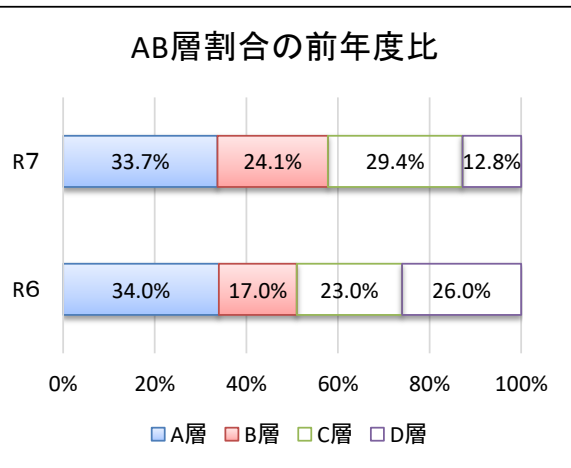
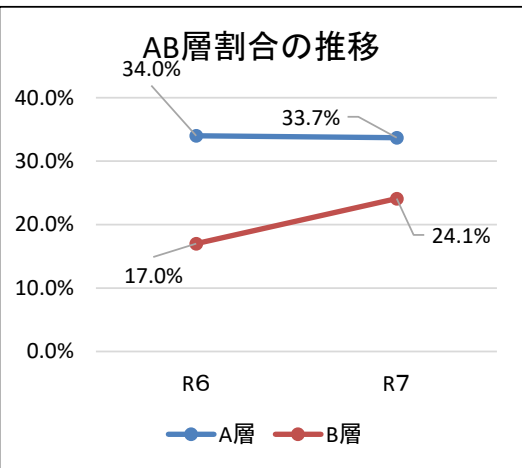
「領域別」の結果



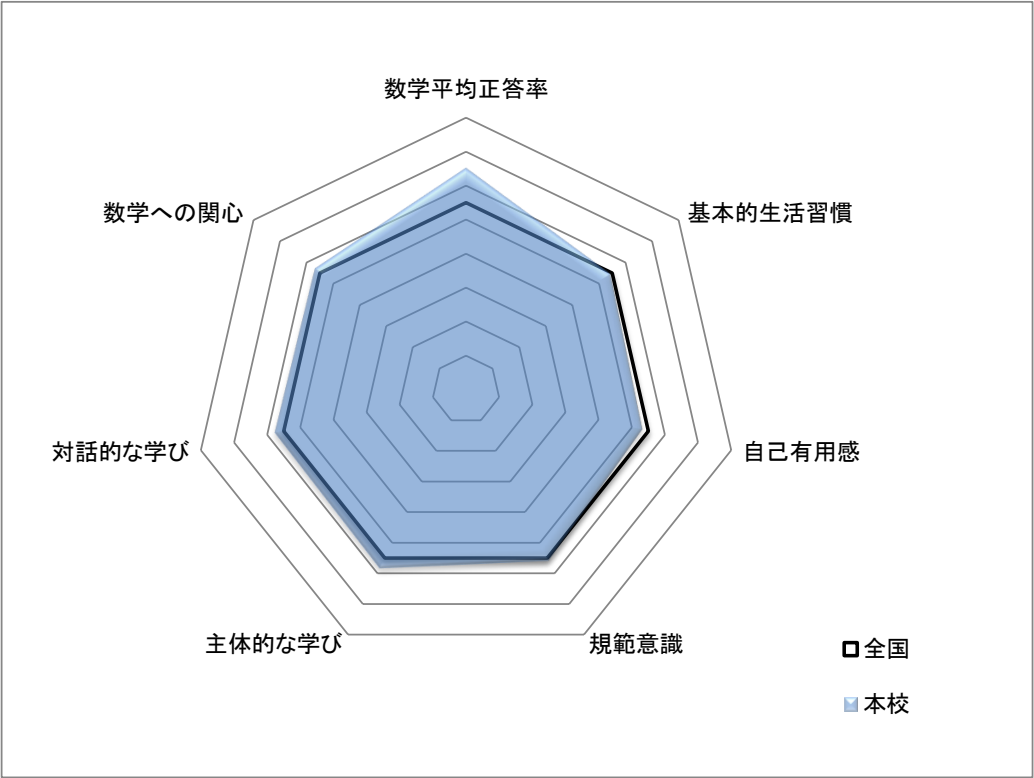
四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

数 学	上位 ← → 下位			
	A層 12~15問	B層 8~11問	C層 4~7問	D層 0~3問
松江第一中学校	33.7%	24.1%	29.4%	12.8%
江戸川区(区立)	23.2%	24.0%	29.6%	23.2%
東京都(公立)	26.5%	27.0%	27.5%	19.0%
全国(公立)	20.9%	25.1%	30.2%	23.8%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

- 平均正答率が、全国の結果を大きく上回っている。
- 自己有用感が、全国の結果をやや下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- 学年通信を利用して、指導方針や家庭学習の取り組み方などを発信した。
- 保護者会をや三者面談を利用して、家庭との連携を強化した。

《現状把握》

- AB層の割合と取組内容について
- 授業内容とは別に、自主学習課題を生徒自身に考えさせ、毎日実践させている。
- 定期的に3年間の学習内容を振り返るテストを行い、苦手分野の発見に役立てている。

《学校の取組》

- 教員の指導力向上
- 校外、校内研修により研究授業を実施し、授業力の向上に役立てている。
- 管理職による授業視察を行っている。

・基礎学力の保障

- 授業はじめに復習プリントを行ったり、単元別テストを行ったりしている。
- 区補習授業を活用し、C.D層の生徒へのフォローを行っている。

・学習習慣の確立

- ワークなど自主学習課題の活用。
- ミライシードのドリルパークを定期的に活用。
- スタディーウィークを年間3回実施。

・AB層の育成

- 授業内で、定期考査に向けた学習で、応用問題を扱い、学習意欲を高めている。
- 授業内で、学び合い機会を設け、判断力、表現力を養っている。